

マンション管理員検定からステップアップ！

「利点を活かして賢く合格」

1 マンション管理員検定・管理業務主任者・マンション管理士試験の難易度

	管理員検定	管理業務主任者	マンション管理士
受験者数	1,297 名	20,625 名	17,088 名
合格者数	824 名	4,278 名	1,587 名
合格率	63.5%	20.7%	9.3%
試験日	3月20と9月23日	12月第1日曜日	11月の第4日曜日

合格率から見て、管理員検定が一番簡単で、次に管理業務主任者、最難関がマンション管理士となります。問題自体の難易度も管理員検定が一番易しくなりますが、管理業務主任者試験とマンション管理士試験では、さほど差がありません。

2 マンション管理員検定・管理業務主任者・マンション管理士の試験科目

	管理員検定	管理業務主任者	マンション管理士
すべてに共通する科目	・区分所有法・標準管理規約・管理委託契約書・管理適正化法 ・消防設備・長期修繕計画・給排水設備・電気設備・宅建業法		
マンション管理士と管理業務主任者に共通する科目		・民法・管理組合理計・建築基準法 ・不動産登記法・品確法	
独自の科目	管理員業務 (受付や立会等) パソコンスキル AED操作 履歴書・面接	税金	都市計画法

主要な法令は、管理員検定で一通り学ぶことができます。そこから、ワンランク、ツーランクアップさせることで、管理業務主任者やマンション管理士にも対応することができます。

3 本試験問題の比較

本試験問題の難易度としては、前述したように、管理員検定試験が最も簡単で、管理業務主任者試験とマンション管理士試験が同じくらいです。ただ、科目によっても、簡単なものと難しいものがあります。マンション管理士試験なら、すべてにおいて管理員検定試験よりも難しいというものでもありません。管理員検定の知識でも十分に解答可能な問題も多く存在します。

①マンション管理士試験

受水槽の点検用マンホールは、有効内径 50cm 以上の大きさとする。(×)

エレベーターの保守契約における POG 契約は、消耗部品付き契約のことで、定期点検及び管理仕様範囲内での消耗品の交換を含んでいる。(○)

全戸が事務所又は店舗の用に供されている専有部分のある建物は、マンションではない。(○)

管理業者 A は、甲管理組合に管理事務に関する報告を行うときは、管理事務報告書を作成し、管理業務主任者をして、これを管理者等に交付して説明をさせなければならない (○)

②管理業務主任者試験

契約に関する有効期間を定め、その上で、有効期間が満了する日の 3 月前までに、管理組合と管理業者の合意があれば自動更新される。(×)

管理事務の委託を受けた管理組合に管理者等が置かれているときは、マンション管理業者は、当該管理組合の事業年度終了後、遅滞なく、当該管理者等に管理事務に関する報告をしなければならないが、管理事務報告書を作成して交付する必要はない。(×)

板書データ

